

見て、感じる R4.12.14



めろん組の劇を見せてもらったばなな組。「さるかに」は絵本で見えていたが、劇として見るのは初めて。言葉や動き、やいといに集中して見る子ども達。背中から何かを感じるものがありました。

「コロコロコロ…栗の真似だよ！」お兄さんがしていた動きを真似ています。



劇が終わった後、やりたいな…と言う思いがウズウズしていた子ども達。「やってみる？」の声掛けに「やる!!!」とすぐに山を登り始めました。「ちょきちょきちょき」「コロコロコロ」「ぶーんぶん」「ペタペタペタ」「どしんどしんどしん」と自然と台詞が出てきます。りんご組さんも一緒に繰り返し楽しんでいました！



めろん組の劇の世界に入り込んでいました。劇を見てなりきる、やりとりをする楽しさ、面白さを感じたのだと思います。台詞から出てくる楽しいリズムや言葉を繰り返し、動きを真似している子ども達は本当に嬉しそう！今回の劇遊びをきっかけにばなな組でもなりきり遊びが始まっています。いつもの遊びからお話遊びやなりきり、やりとりのある遊びに広がっています。たくさん遊び、子ども達が「楽しい！もっとやりたい！」と思えるように、また子ども達の気付きややりたいことを拾い繋げていけるようにしていきたいです。